

魅力ある北信州の玄関口へ 新幹線駅開業にむけて

開業まであと **58日**
※市報発行日の1月15日からの試算です

第39回

飯山までは速く、飯山からはゆっくりと
飯山線観光列車「おいこっと」発表



JR東日本長野支社は12月23日に飯山線新コンセプト列車「おいこっと」車両展示会を飯山駅で行いました。

「おいこっと」は田舎をイメージしてもらうためTOKYO(東京)の英語表記の逆読みが名前の由来となっています。ふるさとやおばあちゃんの家をデザインの基調とした外観、古民家風の心落ち着く内装デザインで乗る人は懐かしさを感じることができます。



今後、定期列車として順次導入され、春からは土日を中心に2両編成で観光列車としても運行を予定しています。飯山までは「はくたか」でお越しいただき、飯山からはこの「おいこっと」が心温まる信越自然郷の旅を演出してくれるのではないのでしょうか。



外観、内装に施されたアイコン。唱歌「故郷」に登場する川(左)、ウサギ(中央)、友がき(右)をイメージしています。他にも5つのアイコンがあり、つつい「故郷」を口ずさんで確認してしまいます。

このコーナーへのご意見をお寄せください。
新幹線駅周辺整備課 新幹線駅周辺整備係
☎ 62-3111 内線 245・246



わが家の人気者

川崎優斗くん
ゆくと

飯山地区
3歳0か月
No.346

車のおもちゃで遊んだり、ピタゴラスイッチのテレビをよく見ます。

絵本の読み聞かせが好きで、最近ひらがなを覚えたので本を読むようになりました。

好きな食べ物はくり、ミカン、焼きノリ(ごはんのおかず)とのこと。

明るく人見知りせず、優しい性格でお母さんが大好きな、甘えん坊の優斗くんです。

(寛さん、暢子さんの長男)

このコーナーに出てみませんか？

「わが家の人気者」に登場していただける2〜3歳くらいのお子さんとお母さんまたはお父さんを募集しています。市役所庶務課秘書広報係までご連絡を！(☎ 62-3111 内線337)

美術館情報

常設展 「ありふれた風景が宝モノ」

～飯山ってこんなところですよ～

新幹線飯山駅開業に先立ち、当地ゆかりの美術家たちの眼を通して写しだされた飯山の風景画を紹介しています。「これはどこの風景だろう？」と思いを巡らせながら、より一層の親しみや魅力を感じていただきたいと思えます。(上は岩上隆静氏の「早春の河」1997年制作作品です)



【会期】平成27年4月9日(木)まで
【開館】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】毎週月曜日(月曜祝日の場合、翌火曜休館)
【入館料】一般300円、小中学生200円 ※市内小中学生は無料
【問合せ】飯山市美術館 ☎ 62-1501

編集後記

新年あけましておめでとうございます。▼年末年始は皆さんどのように過ごされたでしょうか。例年よりも多い雪の対応をされていた方も多かと思えます。▼私も年末年始休業は取材や編集作業の合間を見ながら何日かお休みの日でも自宅の除雪作業を行いました。正月には姉夫婦があいさつに来て、県南部出身の義理の兄が作業を手伝ってくれました。体力もあり体格も良い兄ですが、やはり雪が降らない地域に住んでいるだけあり、排雪場所の段取りや技術的な部分が足りず悪戦苦闘していました。▼スノーダンプ、スコップ、ハンドロータリなどを除雪作業の技術は除雪作業でしか活かされないかもしれませんが、私は雪国飯山の人間としてその技術を持っていることを誇りに思っています。▼今年も新幹線が開業する歴史的な一年です。新幹線開業も含め、皆さんに臨場感ある情報をお伝えできるよう努めてまいりますので本年もよろしくお願ひします。小野沢